

# M. 関心のつながり

この分野は、「コミュニティ」に関わる要素のうち、環境に関する意識・目的を共有する人々のつながりを対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

**【ヒト・モノ・カネ】**

地域のヒト・モノ・カネが  
地域で活かされている

**【まちへの関心】**

「このまちが好き」と言える  
まちになっている

**【事業者の参加】**

事業者が自ら進んで  
地域の環境改善に取り組んでいる

**【市全体の相互扶助】**

知恵や経験を伝え合い  
助け合えるまちになっている



■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

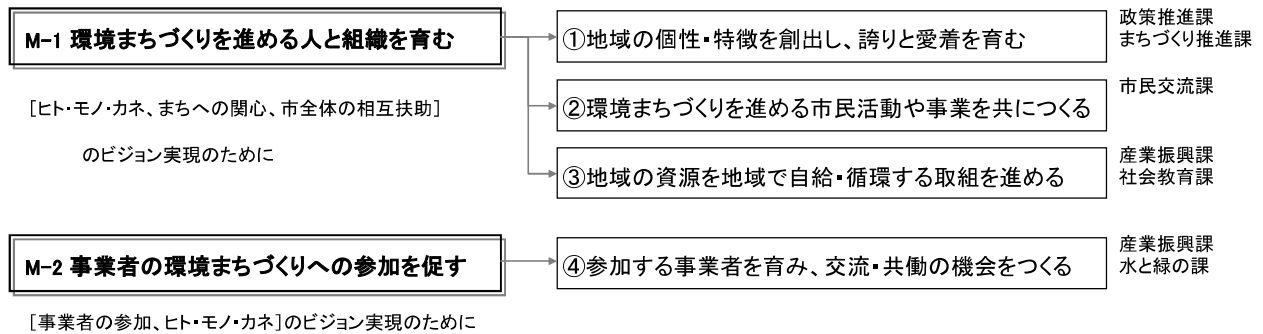
| No. | 指標名               | 現状値 [H. 14] |     | 短期目標 [H. 20] | 長期目標 [H. 35] |
|-----|-------------------|-------------|-----|--------------|--------------|
| M 1 | 地域活動参加事業者数        | 4           | 事業者 | 5            | 20           |
| M 2 | 環境パートナーシップ協定締結団体数 | —           | 団体  | 5            | 20           |

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしてこう！



## 環境まちづくりプログラム

### ■ 施策の体系 ■



### M-1 環境まちづくりを進める人と組織を育む

まちの持ち味を活かし、人と人、人と自然がつながり、自らが参加しまちをつくり育むことがまちづくりであり、環境を通して進めるのが環境まちづくりです。住むまちへの誇りと愛着を育むためにも、こうした地域の資源を地域で活かす自発的な取組を進めていきます。

#### [施策メニュー]

- ① 市民の手でつくるまちの創出、豊かさを見いだし積極的に環境を保全するという意識が根付く施策
- ② コミュニティビジネス<sup>44</sup>の支援体制の充実、様々な関心・テーマの市民活動のネットワーク化  
☆施策立案・検討への市民参加、☆情報や活動の場の提供など市民活動への支援、☆市民参加を支える制度づくり、☆共働プロジェクトの展開、☆NPO<sup>45</sup>の組織化（法人化）に対する支援
- ③ 魅力ある地場生産物の発掘と地域内消費の推進、事業者不用物の地域内循環利用の推進



▲コミュニティ分科会の様子

<sup>44</sup> 生活全般における地域のニーズに対応した地域住民独自のビジネスのこと。利益の追求のみを目的とするのではなく、やる気や能力を持っている人が、それを活かして活躍できる場として期待されている。

<sup>45</sup> Non Profit Organization の略で、非営利組織のこと。一般に「民間非営利活動組織」と言われている。活動資金を会費や寄付金や助成金に頼るだけでなく、積極的な事業活動を行い、その利益を社会的な意義を持った事業の原資とする。

## M-2 事業者の環境まちづくりへの参加を促す

事業者も日進の一員であり、ひと・もの・かね・情報を持つ安定した組織体として、地域の環境まちづくりの主体として期待されます。市内には既に地域の清掃活動を実践したり、市民、事業者、市の共働による環境まちづくりに関心のある事業者が多くいることから、さらなる参加を促し、共に誇りと愛着のもてる日進をつくっていきます。

【施策メニュー】

- ④ 事業所における環境改善委員会の設置促進、事業所における環境学習の推進、事業者の環境まちづくりに取り組む人材育成事業者間ネットワークの構築、事業者も参加するエコマネー制度の導入、ISO取得の支援、低金利で貸し付けるエコバンク<sup>46</sup>の創設、事業者参加の市民会議の設置



▲市民に呼びかけ環境を話し合った「かんきょう談話会」の様子



▲事業者による地域清掃活動の様子

<sup>46</sup> 身近な地域の環境にやさしい事業に特化して融資を行う銀行。環境にやさしい事業に使われることに賛同する預金者を募る。



# N. 様々な世代の参加

この分野は、「遊びと学び」に関係する要素のうち、環境まちづくりやそれにつながる活動を進めるうえで子どもから高齢者までの様々な世代の参加を対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

## 【子どもの参加】

「駄菓子屋と お花畑と秘密基地  
学校終われば 子どもの天下」

## 【大学生の参加】

「大学生 みしかついで集落を  
地元の人と 酒酌み交わす」

## 【子育て期の参加】

「わが子ども 生まれて初めて考える  
食の安全 身近な環境」

## 【壮年期の参加】

「かき氷 金魚すくいに玉せんや  
おじちゃんお祭りありがとう」

## 【高齢者の参加】

「寄り合いで ええこと聞いたぞ若人が  
われらの知恵を 頼っとるがや」



### ■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

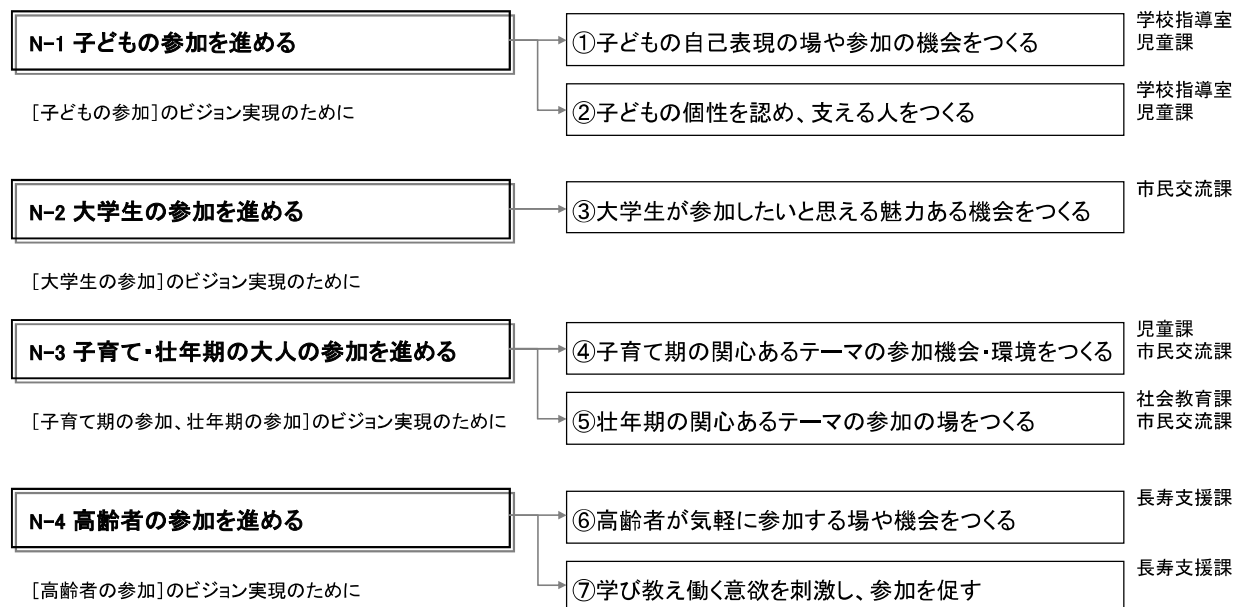
| No. | 指標名                       | 現状値 [H. 14] |   | 短期目標 [H. 20] | 長期目標 [H. 35] |
|-----|---------------------------|-------------|---|--------------|--------------|
| N 1 | こどもプロジェクトへの参加こども数         | 1 1 2       | 人 | 1 4 0        | 3 0 0        |
| N 2 | 環境パートナーシップ協定<br>締結団体の会員数  | —           | 人 | 3 0 0        | 1,000        |
| N 3 | 講座・イベントにおける<br>年間延べ託児利用者数 | 2 2 2       | 人 | 2 5 0        | 5 0 0        |
| N 4 | 「にっしんのんびり村」への<br>年間延べ参加者数 | —           | 人 | 1 万          | 8 万          |

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしていこう！



環境まちづくりプログラム

■ 施策の体系 ■



**N-1 子どもの参加を進める**

日進は子どもの多いまちと言われます。こうした特徴を捉えて、子どもと環境まちづくりをつないでいく取組として、子どもの個性を認め支える人をつくり、子どもがまちやコミュニティの中で遊んだり学んだりできる場や機会をつくっていきます。また、子どもも一人の市民とし環境まちづくりに参画し、その視点が活かされるようにしていきます。

[施策メニュー]

- ① ★子ども達が自由に使える場づくり（自然の中で秘密基地的なプレーパーク）、近足<sup>47</sup>・道草（まち探検）の推奨・機会づくり、安心して歩ける道（未舗装、あぜ、秘密の抜け道等）づくり、★子どものたまり場（駄菓子屋、児童館、古民家など）づくり、★日進の自然や遊びの絵本や番組の制作・普及（ケーブルテレビ等）、★何かを収穫する楽しみ（みんなで農業体験、昆虫採集）づくり、★大人と一緒に遊び学ぶ機会の創出、★年上の子どもが年下の子どもに遊びを教える場・機会づくり、★自然あそび塾の開設（大人も一緒に）
- ② 様々な価値観を認めることのできる先生の採用・育成（民間からの採用、研修・評価制度の充実等）、自己表現をほめる雰囲気づくりのできる親の育成（育児サークルのプログラムの充実等）、子どもの活動の発表の場づくり（コンペ・夏休みの自由研究等）、遊びの達人の発掘・育成、道草を見守る人づくり（農家、商店主等）、子どもの遊びと学びと参加を支えるNPOの設立

<sup>47</sup> 遠くに出かけて行く「遠足」に対して、自分たちの暮らすまちの魅力を知るために近くを歩こうという造語。

## N-2 大学生の参加を進める

日進には、7つの短大・大学があり、市内には多くの学生が暮らしています。学生時代の豊かな発想や行動力を環境まちづくりに活かしていきます。

[施策メニュー]

- ③ 学生エコ大賞の創設、家具・家電製品のリサイクルなど学生向けのエコショップの設立、学祭を活用した参加の機会づくり、☆市民と学生が連携した「まつり」の開催、☆市民大学講座の企画・運営等の促進、☆インターンシップ制度（地域活動を含む）の適正な運用、☆学生ボランティアの登録などの環境づくり

## N-3 子育て・壮年期の参加を進める

子育て期・壮年期の世代は人口割合としては高いものの、それぞれ子育てや仕事に忙しい時期でもあります。こうした世代の関心を掘り起こし、横のつながりをつくっていく取組によって、環境まちづくりへの参加を進めていきます。

[施策メニュー]

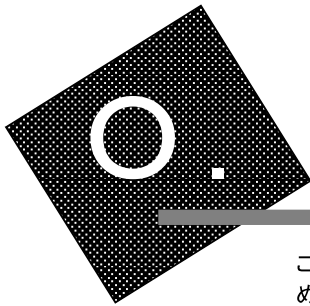
- ④ 料理教室、農業体験、生協・農協との連携によるスローフード思想の普及、環境を視野に入れた子育て支援（情報と場の提供）の充実
- ⑤ 昼間地域に居られるようなコミュニティビジネスの充実、★農のある暮らしの普及、囲炉裏を囲む寄り合いの場所づくり、★にっしんのんびり村の設立、おやじの会の設立促進、一芸（仕事や趣味で得た技）を伝える場・機会の創出

## N-4 高齢者の参加を進める

古き良き時代の環境にやさしい暮らし方や企業で培った様々な経験・知識など、高齢者は環境まちづくりを進めていくうえで貴重な人材です。こうした高齢者が活躍できる場や機会をつくり、共に遊び学ぶことを進めていきます。

[施策メニュー]

- ⑥ 寄り合いのできる場所づくり、高齢者の組織・関心の実態調査と活用（高齢者組織名簿づくり等）、世話役・連絡役などの組織や人の育成・支援、高齢者へ向けた情報発信・参加の呼びかけ
- ⑦ シニア市民環境大学の創設、既存の講座の環境まちづくり面での充実、★総合学習での講師養成・機会づくり、シニア環境技術者集団の育成と活用、シニアコミュニティビジネスの立ち上げ支援



# 自然体験・環境共育

この分野は、「遊びと学び」に関係する要素のうち、環境まちづくりやそれにつながる活動を進める原動力となる、自然にふれあう体験、環境に関する情報の受発信、環境について学び合う環境共育を対象としています。

こんな環境や社会にしたい！！



環境まちづくりビジョン

### 【自然とのふれあい】

「さあやろい 子ども集めて池殺生  
みんな泥んこ魚取り合い」

### 【地球への意識】

自然の豊かさにふれ  
地球にやさしい生活を実感している

### 【環境共育】

「おじちゃんも おばちゃんもいる地域の学校  
共に育てる 古郷の夢」

### 【環境情報】

「春はどこ 秋はあそこと遊び場を  
多くの市民が知っている」



## ■ 環境指標と数値目標 ■

(詳細は資料編参照)

| No. | 指標名                        | 現状値 [H. 14] |    | 短期目標 [H. 20] | 長期目標 [H. 35] |
|-----|----------------------------|-------------|----|--------------|--------------|
| 01  | 環境連続講座修了者延べ数               | —           | 人  | 150          | 600          |
| 02  | 市内自然観察会への年間延べ参加者数          | 538         | 人  | 625          | 1,000        |
| 03  | 学校への環境まちづくり市民講師<br>年間参加時限数 | 7           | 時限 | 20           | 110          |
| 04  | グリーンマップへの延べ参加者数            | —           | 人  | 210          | 1,000        |

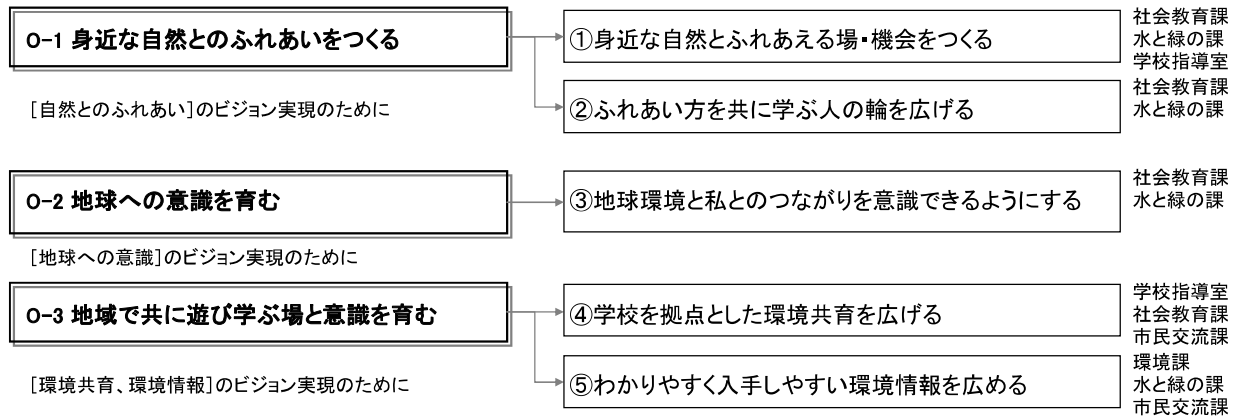
[検討・把握する環境指標] 環境情報に関する指標

「環境まちづくりビジョン」を実現するためにこうしてこう！



## 環境まちづくりプログラム

### ■ 施策の体系 ■



### 0-1 身近な自然とのふれあいをつくる

環境意識を育むには小さい頃の自然体験が重要です。日進に残された自然を活かし、ふれあえる場や機会の創出、遊びや学びを共につくっていく人を育てていきます。

#### 【施策メニュー】

- ① みんなで共有できる自然の創出、ナショナルトラスト<sup>48</sup>を進めるNPOの設立、自然あそびの伝承学校、日進自然あそびオリンピックの開催
- ② 自然遊びの達人の発掘と活用、里山ボランティアの育成、★日進独自の絵本・紙芝居・写真集・図鑑などの作成



▲堀割池での池殺生の様子（赤池町）



▲秋の野山を遊び尽くそう！の様子（東部丘陵）

<sup>48</sup> 「みんなのために永遠に」という理念で自然と歴史的文化遺産を残す運動として、1895年にイギリスで生まれた保全活動の形態。土地の購入など、その活動に要する資金は、主に一般の人々の寄付やメンバーの会費などで賄われる。



## 0-2 地球への意識を育む

総合的な環境にやさしい生活を広めるために、地球と自分たちとのつながりを意識できるような取組を進め、地球規模で考え、地域で行動できる人を育みます。

[施策メニュー]

- ③ 地球にやさしい生活をする事による恩恵を体感できる方法の検討、自分の生活が本当に地球にとってやさしい生活かチェックできる表（環境家計簿など）の作成と普及

## 0-3 地域で共に遊び学ぶ場と意識を育む

環境への配慮、環境まちづくりへの参加の原動力は、人と人、人と自然とのつながりの中で、多くの遊びと学びを経験することです。そうした遊びと学びの場や機会、遊びと学びに関する情報をつくり伝えていきます。

[施策メニュー]

- ④ ★児童・生徒向け環境共育プログラムの提供、★学校教員向け環境共育実践講座の実施、地域ごとの自主運営型育自<sup>49</sup>サークルによる学校の管理・活用、★地域の人が先生となった生活科・総合学習での地域の宝物探しの実施、児童館などで学習会の開催、土曜学校の開催、☆大学を核とした生涯学習の実践、☆人材・施設の活用、☆生涯学習施設を活用した幅広い学習プログラムの提供
- ⑤ ★環境連続講座の開催、写真・地図などビジュアルな情報の提供、紙・電子媒体など様々な媒体による受信者の都合に合わせた発信、★グリーンマップの作成と普及、☆情報ネットワークを活用した各種団体・グループの紹介、★日進市版環境センターの開設と充実化、★エコドームの企画展示の充実

<sup>49</sup> 育児を通して、「自分を育てる」という意味の造語。